

外交関係樹立５０周年に際しての日・パプアニューギニア外相共同声明 —未来に向けて共に歩むための信頼とトモダチの精神（友情）の５０年—

１ 我々、岩屋毅日本国外務大臣及びジャスティン・Ｗ・トカチェンコ・パプアニューギニア独立国外務大臣は、日・パプアニューギニアの外交関係樹立５０周年及びパプアニューギニア独立５０周年を祝うとともに、未来に向けて共に歩むため、両国間の信頼とトモダチの精神（友情）を更に発展させる決意を再確認する。

２ １９７５年、日本とパプアニューギニアは、パプアニューギニアの独立を祝い、新しい国造りにおいて目覚ましい歩みを遂げ、国民福祉を向上させた同国国民を称賛した。我々は、第二次世界大戦中にパプアニューギニアで数多くの戦闘が行われ、無数の命が失われたという共通の歴史を想起し、パプアニューギニアの平和と繁栄に対する共通のコミットメントを認識する。我々は、責任ある繁栄した国家となる上でパプアニューギニアが果たした成功の過程を称賛し、両国間のなくてはならないパートナーシップを高く評価する。５０年前の外交関係樹立以来キズナ（絆）で結ばれた長年の「トモダチ（友好）」関係を育んでいく。

３ 我々は、日本の長年にわたる信頼された協力が、質の高い成果をもたらし、幅広い分野においてパプアニューギニア国民の持続可能な発展及び生活向上に大きく貢献してきたことを認識する。日本のパプアニューギニアとの協力は、同国独立の前年である１９７４年に始まった。ニューアイルランド州ケビエンの国立水産大学設立は、日本によって行われた最初の無償資金協力プロジェクトの一つによって可能となった。以来、同大学は、パプアニューギニアの漁業分野における能力開発と産業発展において、中核的な役割を果たしてきた。２０２３年に日本の支援により改修され、ジェームズ・マラペ・パプアニューギニア首相により命名された、ナザブ「トモダチ（友達）」国際空港は、地域経済を強化する連結性の地方拠点として機能し、両国の強固なかつ直近の友好関係の証となっている。

４ ５０年を経た現在、日本とパプアニューギニアは、相互補完的な経済関係を享受している。日本はパプアニューギニアの国内産業育成に協力し、パプアニューギニアは日本にとって重要なＬＮＧ（液化天然ガス）及び漁業の供給国の一つとなった。我々は、両国が貿易・投資促進を含む相互の努力を通じ、経済関係を更に高い水準へ引き上げるため、今後も連携して取り組み続けることを再確認する。

５ 我々は、両国国民が互いの文化や自然の美しさと多様性の価値を深く理解していることを相互に認識する。我々は、過去５０年間にわたり、文化交流及び人的交流が著しく拡大したことで、両国の友好関係が強固になったことを確信してやまない。両国の将来の世代における永続的な絆のため、我々は、交流を促進し、相互理解を深め、若者に投資し、様々な分野での協力を一層強化する意向を改めて表明する。

6 我々は、教育が国家発展の鍵であると認識し、将来世代への投資として、パプアニューギニアにおける教育の質の向上と底上げにコミットする。これまでに800名以上のJICAボランティアが、パプアニューギニアにおける教育分野を含む様々な協力分野に派遣され、現地の人々と手を携えながら取り組んできた。我々は、パプアニューギニアの小学校の全学年向けに日本の数学教育手法を取り入れた算数の教科書及び教師用指導書を作成し、普及させた実績を誇りに思う。

7 我々は、自由、民主主義、持続可能な開発、法の支配、人権、人間の尊厳、力又は威圧による一方的な現状変更の試みへの反対、紛争の平和的解決、環境保全の尊重といった共通の価値と原則を再確認する。我々は、地域及び世界の平和、安定及び繁栄のために尽力する強いコミットメントを共有し、「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」の実現に向け、相互に一層緊密に連携する決意を新たにする。

8 我々は、地域及び国際場裡における両国のパートナーシップの重要性を認識し、地域及び国際的な枠組みの中で相互に協力し支援する。我々は、太平洋諸島フォーラム（PIF）の下での太平洋地域の団結及び一体性を維持する重要性並びに1997年以降の太平洋・島サミット（PALM）に象徴される多大な協力を通じて、日本と太平洋島嶼国・地域との間の確固たる信頼とキズナを育むために共に取り組むことの重要性を再確認する。

9 我々は、地域の平和、安定及び安全保障に対する我々のコミットメントを示す、自衛隊とパプアニューギニア国防軍（PNGDF）との間の防衛協力の進展を評価する。我々は、パプアニューギニア国防軍が、太平洋において国家及び地域の安全保障のためにその能力を発揮し、日本が、政府安全保障能力強化支援（OSA）の提供を含め、その努力を後押しする取組を共に行うことを楽しみにしている。

10 パプアニューギニア独立50周年及び日・パプアニューギニア外交関係樹立50周年を祝うにあたり、我々は、二国間関係を一層発展させ深化させるために最大限努力するとの決意をここに新たにするを喜ばしく思う。このような両国間の親密な関係は、50年以上にわたる協力と友好の長い歴史に根ざしており、これを節目として、我々は次の50年へ共に歩み、信頼とトモダチの精神をもってこの責任を担う次世代へバトンを渡していく。

（終わり）